

「若者・女性に選ばれる地域づくりの実現」に関する宣言

急激な人口減少が続くなか、中部圏が将来にわたり持続的に発展するためには、人口減少の緩和とともに、人口減少社会に適応し、未来に希望を持てる社会をつくる必要があります。

そのためには若者や女性が地域に定着し、一人ひとりの幸福感や自己肯定感が高く、生き生きとした生活を営める地域づくりを進めることが重要です。

中部圏は、日本経済を支える製造業をはじめ、観光業、農林水産業など多彩な産業が展開されており、様々な分野で若者・女性が活躍できる環境にあります。また、日本の中心に位置し、今後、リニア中央新幹線の全線開業をはじめ、移住・関係人口の更なる拡大が見込まれる地域もあります。

中部圏知事会では、企業・団体、地域、住民などあらゆる主体とともに、若者・女性から選ばれる地域づくりが実現できるよう9県1市がより一層連携して、次の取組を推進することを宣言します。

- 1 若者の交流機会の拡大や居場所づくり、ライフデザインについて考える機会を創出し若者の主体的な社会参画を促進するとともに、若者の起業支援や奨学金返還助成などにより地域に根差して挑戦する若者等の活動を応援します。
- 2 経営者・リーダー層や、地域社会の意識醸成や女性活躍推進に取り組む企業への支援等により、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を解消し、ジェンダー平等を推進します。
- 3 若者や女性の転出行動に影響を与えていた「職場」の重要性も踏まえ、男性の育児休暇取得促進や短時間正社員制度の活用等による多様で柔軟な働き方の支援とともに、若者や女性の働く場の更なる創出などにより、誰もが希望に応じたキャリア形成や、妊娠・出産・子育て等と仕事を両立することができる地域づくりを進め、共育てが当たり前の社会を築きます。
- 4 子どもを産みたい・育てたい人のハードルをなくし、子どもや子育てを支える環境づくりを推進します。
- 5 公共ライドシェアなど多様な移動手段を活用し、地域の実情に応じた公共交通の充実に取り組むことにより、若者や女性を含む誰もが住みやすい地域づくりを実現します。
- 6 若者・女性に選ばれる地域づくりの旗振り役として、自ら率先して、女性・若手職員の活躍促進や働きやすい職場づくり、ジェンダー・ギャップ解消等に取り組みます。

令和7年(2025年)10月21日
中部圏知事会